

## 協議事項 市内公共交通再編の方向性案について(詳細版)

## 1 再編の方向性案の概要(令和3年10月予定)

【方向性1】南部循環線を西崎地区へ延伸することについて

【方向性2】いとちゃん mini デマンドを朝夕に延長し本格運行することについて

【方向性3】いとちゃん mini 国吉線について、利用状況に合わせたダイヤへの変更を検討することについて

## 2 現状整理

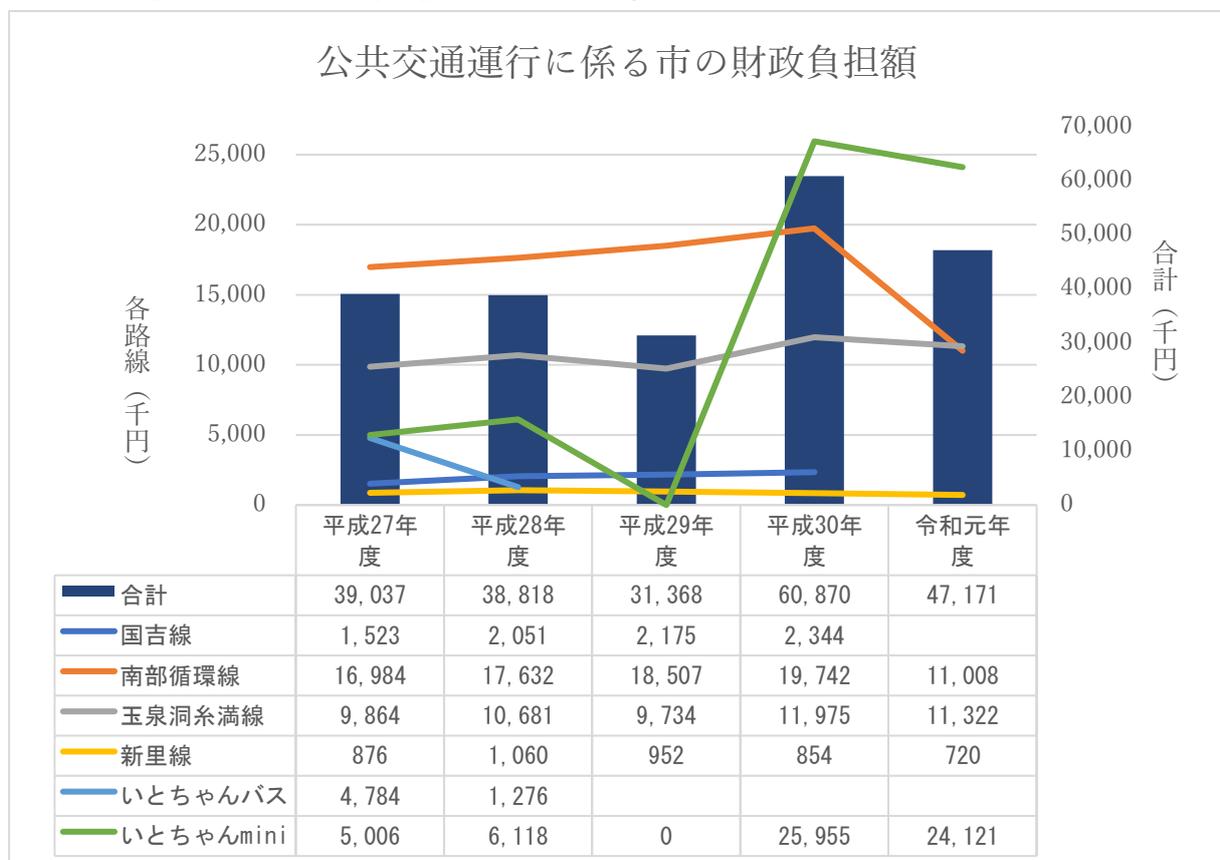
## (1) 市内線公共交通これまでの経緯

- ① 平成27年度・28年度いとちゃん mini デマンド実証実験
- ② 平成30年度市内公共交通再編
  - (ア) いとちゃん mini デマンド試験運行(H30.4.1~R3.3.31)
  - (イ) いとちゃん mini 国吉線試験運行(H30.10.1~R3.3.31)
  - (ウ) 南部循環線減便(H30.10.1~)
  - (エ) 国吉線廃止(H30.10.1~)

別紙チラシ参照

## (2) 財政状況

令和元年度時点で年間5千万円近い財政負担が出ており、見直しを行わない場合この状況が続くことが予想され、持続性に問題がある。



### 3 各方向性の詳細

#### 【方向性1】南部循環線を西崎地区へ延伸することについて

現在の南部循環線は長年にわたって利用者が低迷、市の財政負担も大きく、持続的とは言えない。ルート・ダイヤ等の再編を行うことにより利便性向上に伴う利用者増につながると考えられ、そのあり方及び再編に向けた検討を行う必要がある。

今回の会議では、「南部循環線を西崎地区へ延伸する」という方向性を決定したい。資料に示す具体的な案は、あくまで議論の土台となる「たたき台」であり今回決定するものではない。詳細については、今回の議論及び各関係機関との調整を踏まえ次回以降に順次決定していきたい。

#### (1) 現在の運行内容

南部循環線



107 南部循環線（真壁・喜屋武廻り） 平日									
糸満バス ターミナル	糸満市 役所前	糸満 □ -タリ-	真栄平	真壁小 学校前	ひめゆり の塔前	喜屋武	糸満市 役所前	糸満 □ -タリ-	糸満バス ターミナル
6:10	*	6:13	6:25	6:31	6:40	6:50	7:03	7:08	7:10
14:50	*	14:55	15:09	15:16	15:22	15:30	*	15:42	15:44
17:25	17:33	17:35	17:47	17:54	18:01	18:12	*	18:23	18:25
19:00	19:04	19:06	19:16	19:20	19:26	19:36	*	19:46	19:48
21:00	21:04	21:06	21:16	21:22	21:29	21:36	*	21:46	21:48

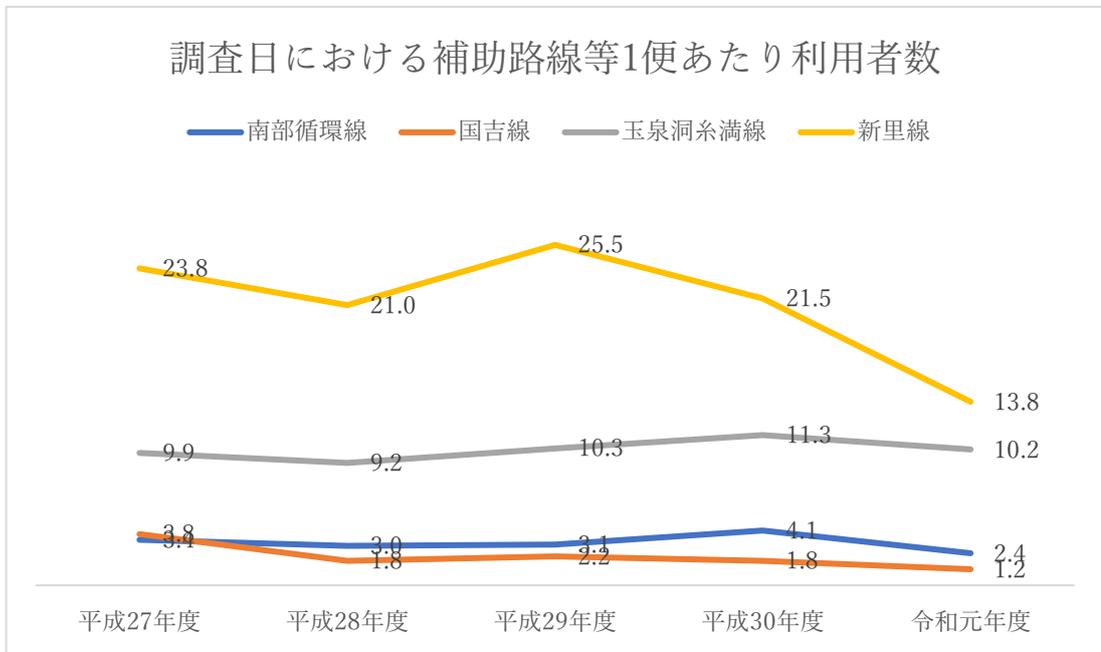
108 南部循環線（喜屋武・真壁廻り） 平日									
糸満バス ターミナル	糸満 □ -タリ-	糸満市 役所前	喜屋武	ひめゆり の塔前	真壁小 学校前	真栄平	糸満 □ -タリ-	糸満市 役所前	糸満バス ターミナル
7:20	7:23	*	7:34	7:44	7:51	7:59	8:13	8:16	8:20
9:00	9:03	*	9:16	9:27	9:33	9:40	9:51	*	9:54
16:00	16:03	*	16:15	16:26	16:33	16:39	16:52	*	16:54
18:30	18:33	18:38	18:50	19:00	19:07	19:14	19:27	*	19:30
20:00	20:03	20:07	20:17	20:25	20:30	20:35	20:46	*	20:48

通勤通学対応ダイヤ

(2) 利用状況

① 他の路線との比較

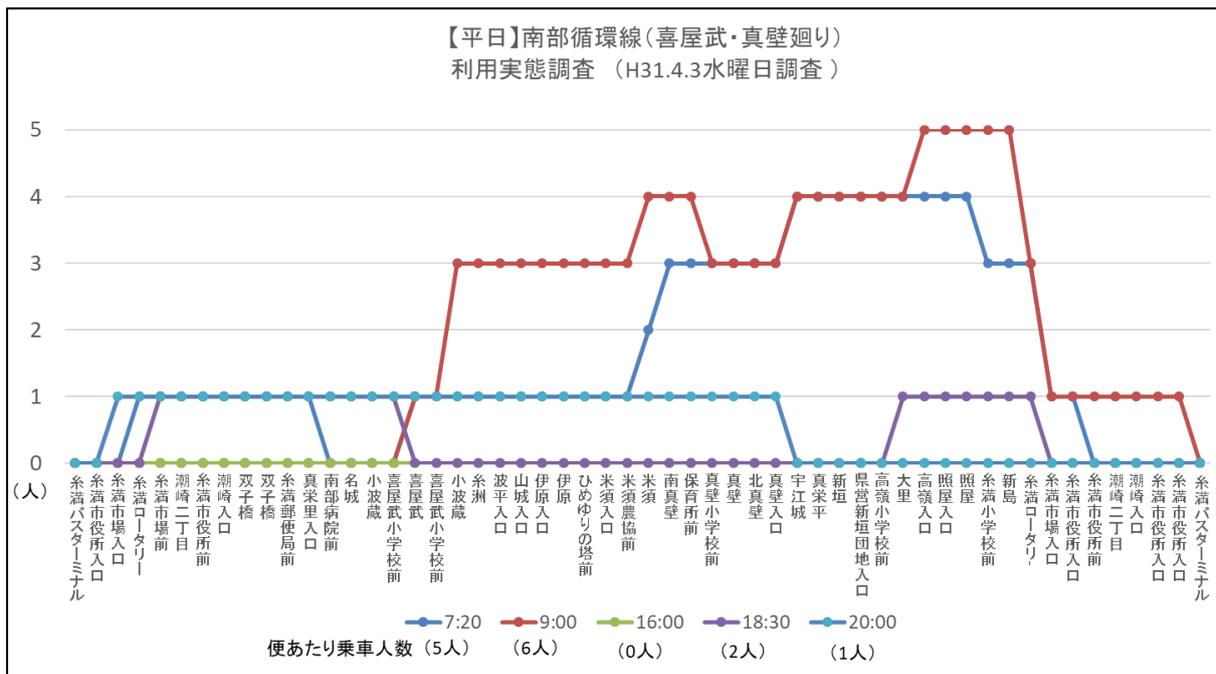
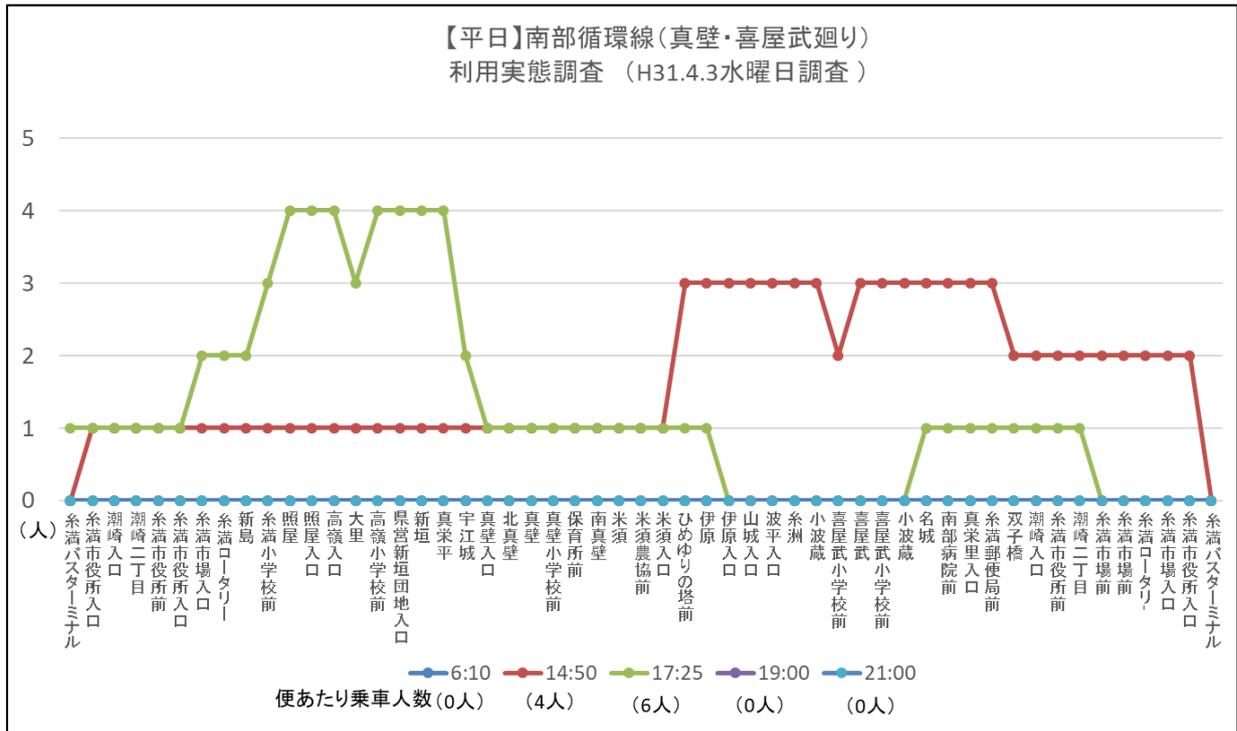
他の補助路線と比較すると、南部循環線は利用者数が少ないことが分かる。

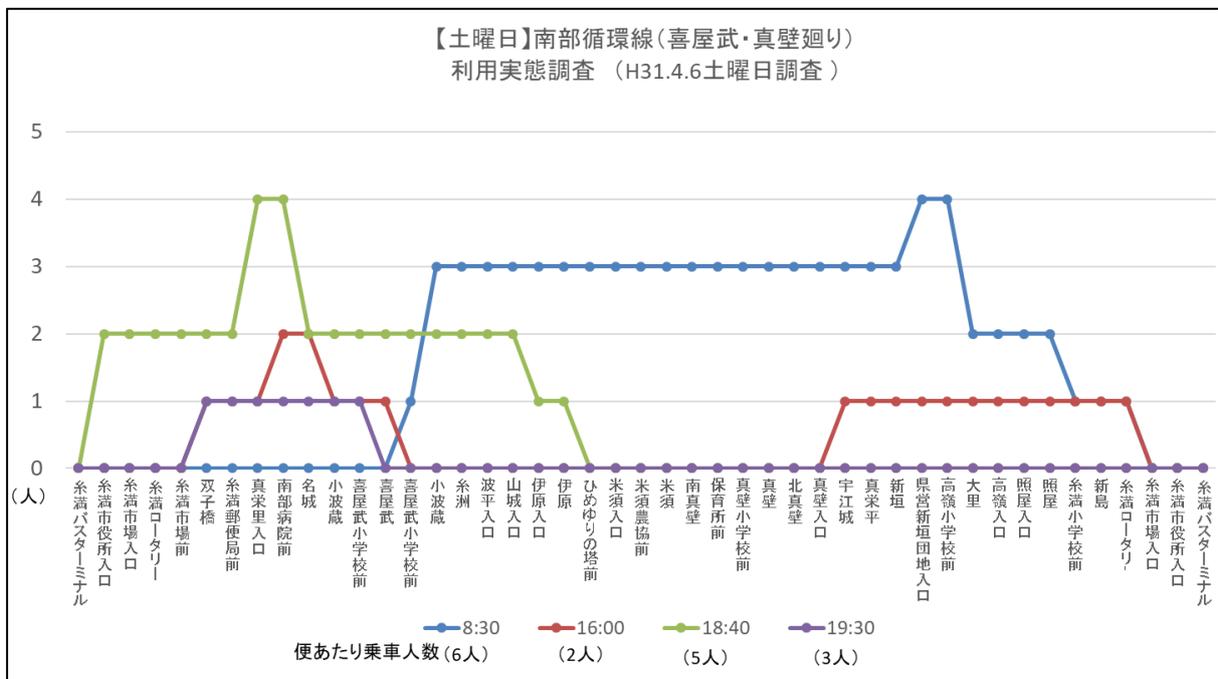
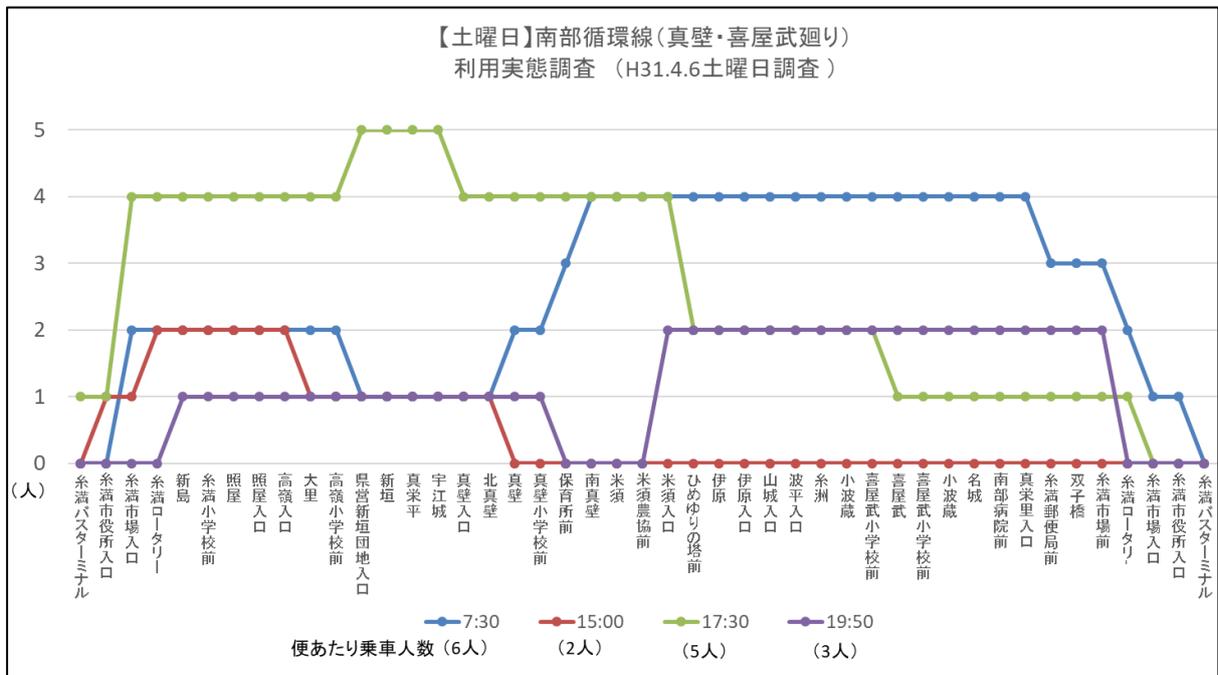


(糸満市バス対策会議資料を基に作成) ※国吉線は、平成30年度までは、琉球バス、令和元年度から糸満市運行。

② 便別・バス停別の利用者数

全体的に利用が低迷しているが、特に朝早くと夜遅くに利用が少ない状況がある。





### (3) 利用低迷の原因分析

#### ① 分析について

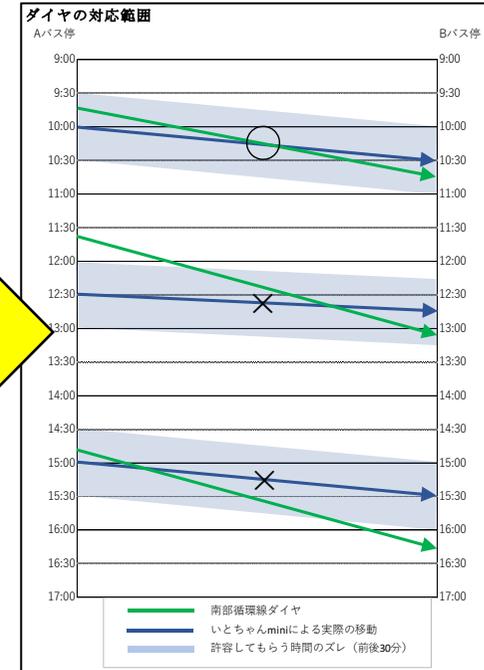
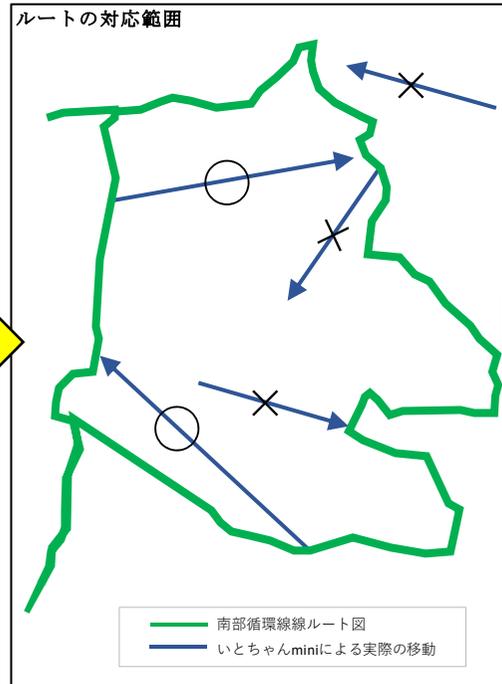
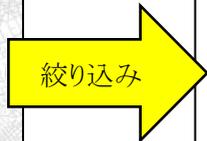
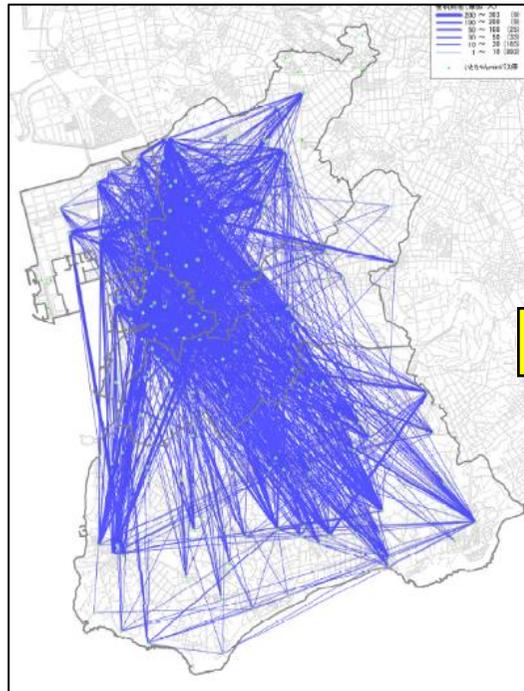
南部循環線の利用低迷の大きな原因の一つに、市民の移動需要をカバーできていない可能性が考えられる。

そこで、南部循環線の運行内容ととちやん mini デマンドの利用実績を照らし合わせて市民の移動需要をカバーできているか分析した。

② 分析結果

現在の南部循環線は、糸満バスターミナルが起終点となっているが、市民の移動の多くは糸満バスターミナルをまたぐものが多く、市民の移動需要との間にずれがあることが分かった。

同時に、南部循環線のルートを延伸することにより市民の需要に合った形にすることができる可能性も分かった。



(令和元年度いとちゃん mini デマンド実績)

利用者数:約 23,700 人  
割合:100%

利用者数:約 3,600 人  
割合:15.2%

利用者数:約 500 人  
割合:2.1%

(4) 再編の考え方の検討

南部循環線のルート・ダイヤが市民の移動需要と合っていない問題を解決する方法としては、

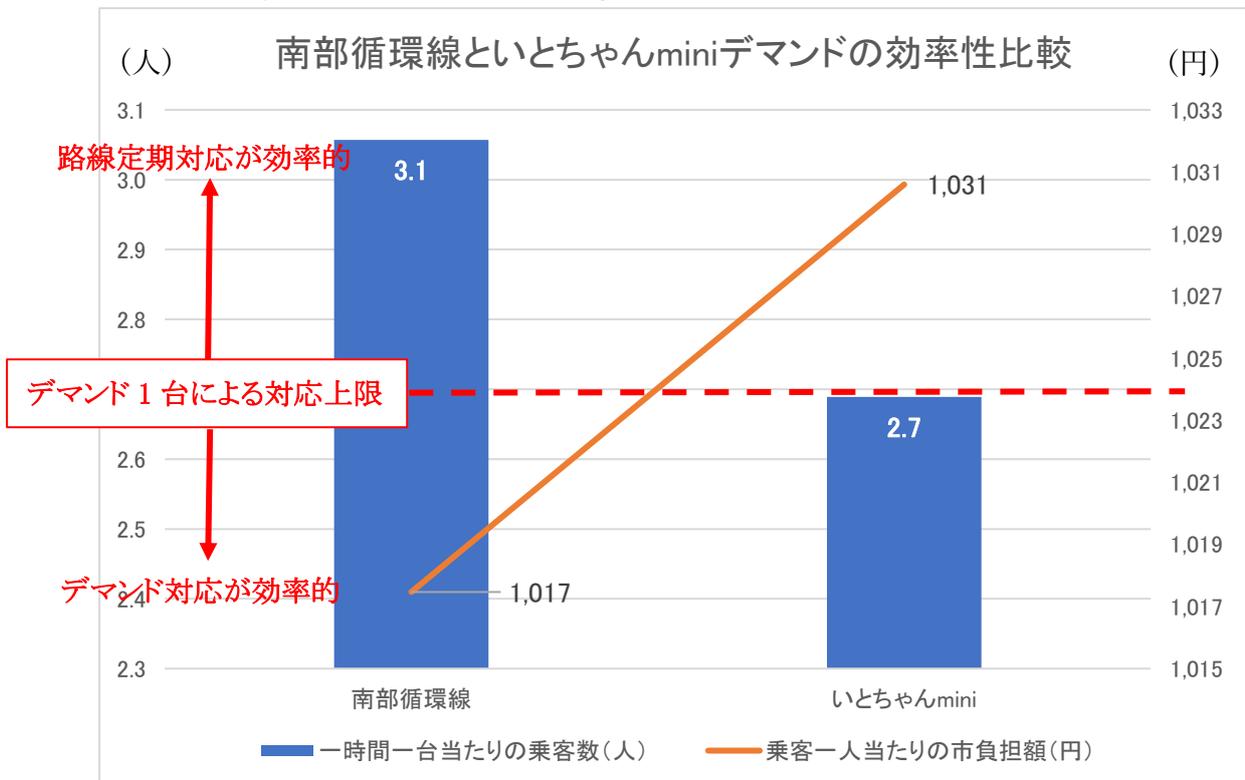
- ① 南部循環線を廃止、いとちゃん mini デマンドを拡大する
- ② 南部循環線のルート・ダイヤを市民の需要に合わせて再編する

の2つの考え方があるが、今回の再編は以下の理由から②の考え方で検討する。

(理由1)いとちゃん mini デマンドで市内の移動需要全てに対応するのは効率が悪い

デマンド運行は分散した需要への対応は得意だが、朝夕の通勤時間帯や移動が集中するルートなど一定の需要が見込める場合には効率が悪い。

現在の南部循環線といとちゃん mini デマンドを比較しても、南部循環線のほうが効率のいい運行を行っている。



(理由2) 定期運行を求める市民の声が大きい

市民アンケートやワークショップその他直接市に寄せられる声には、予約する必要が無い定期運行を求める声も多い。

- ・「地域をくまなく走れるようなコミュニティバスを考えてもらいたい」
- ・「役所、病院、図書館、買い物などを巡る公共交通が欲しい」
- ・「高齢者には、いとちゃん mini の予約の電話が面倒」
- ・・・等(市民アンケート、地域福祉懇談会より抜粋)

(5) 再編に向けた検討

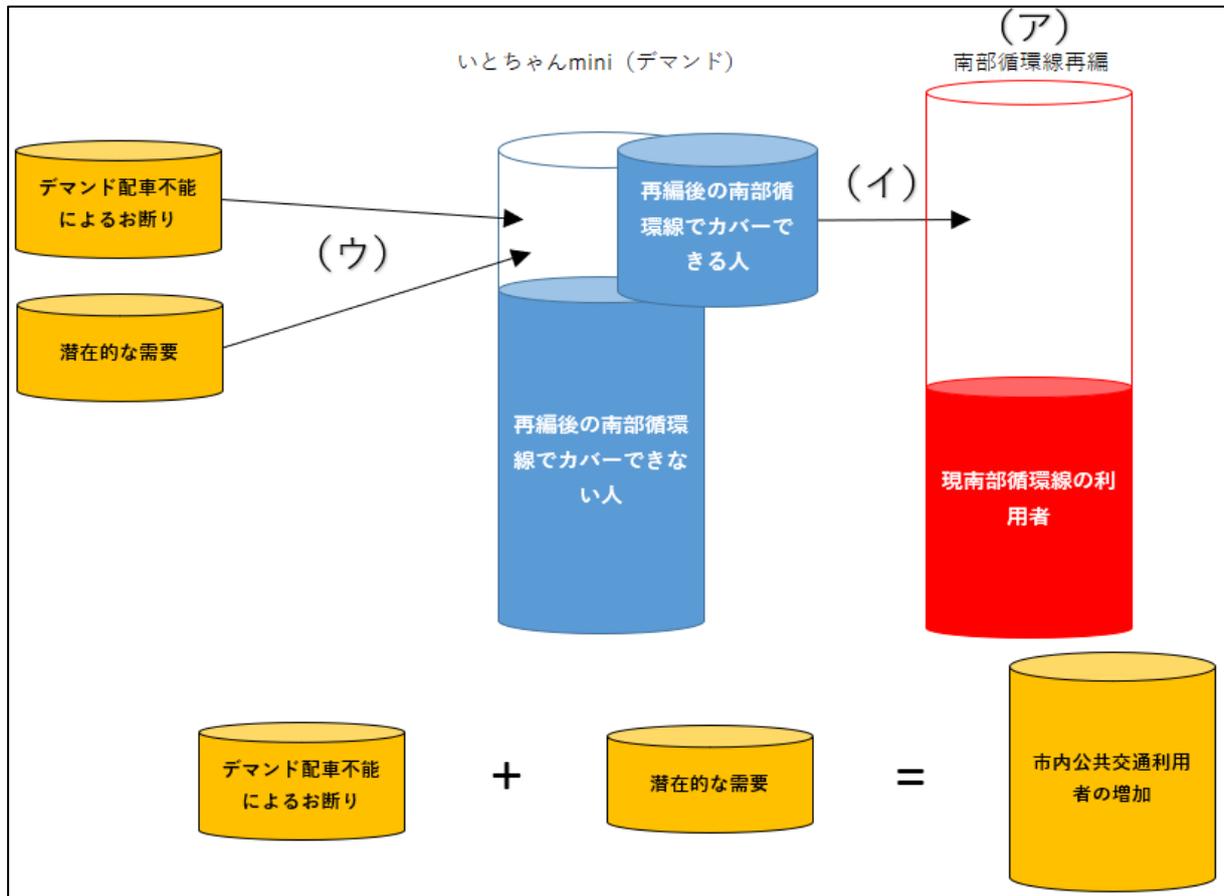
① 市内公共交通の組み合わせを最適化

今回の再編では南部循環線のルート・ダイヤ等を再編することで、いとちゃん mini デマンドとの役割分担を行い市内公共交通の組み合わせを最適化することを目指す。

(ア) 南部循環線のルート・ダイヤを市民の需要に合わせて再編

(イ) いとちゃん mini デマンドの利用者の一部を南部循環線に移行してもらう

(ウ) いとちゃん mini デマンドに生まれた余裕に、これまでお断りしていた輸送能力を超える需要を取り込む



② 再編案の評価指標

再編案を検討するにあたって、以下の指標により評価した。

指標1 南部循環線の利用者を多くカバーできること

(理由) 現行で一定程度いる南部循環線の利用者を守る必要があるため

指標2 いとちゃん mini デマンドの利用者の多くをカバーできること

(理由) 飽和状態にあるいとちゃん mini デマンドの利用を和らげるため、いとちゃん mini デマンドの利用者の多くをカバーして移行してもらう必要があるため

指標3 通勤及び通学の利用者が見込まれること

(理由) 今後も市民の足として定着するためには、朝夕に多くの需要が見込まれる通勤通学に対応する必要があるため

③ ルートの検討

4案を比較したところ、B案が3つの指標全てで◎となった。しかし、実現性から考えるとAルートの方がバランスがいい。

ルート名	Aルート		Bルート		Cルート		Dルート	
ルート図								
特徴	・南部循環線のルートを基本に、高校、病院、市役所、商業施設、西崎住宅地、西崎工業団地駅等、公共施設、生活施設等を通過		・Aルートから、狭小なルートを走行する必要がある市立図書館・社会福祉協議会・名城ビーチ等を通過		・兼城地区も通過する市内一周線		・豊崎地区まで延伸し豊見城市内一周線と接続	
指標1 南部循環線 利用者のカ バー	◎	南部循環線利用実績のほぼ100%カバー	◎	南部循環線利用実績のほぼ100%カバー	○	南部循環線利用実績の91.7%カバー	◎	南部循環線利用実績の97.9%カバー
指標2 いとちゃん mini デマ ンド利用 者のカ バー	○	いとちゃん mini デマンド利用実績の53.9%カバー	◎	いとちゃん mini デマンド利用実績の57.4%カバー	×	いとちゃん mini デマンド利用実績の31.8%カバー	×	いとちゃん mini デマンド利用実績の36.0%カバー
指標3 通勤・通学 利用の見 込み	◎	糸満高校、沖縄水産高校、西崎工業団地対応	◎	糸満高校、沖縄水産高校、西崎工業団地対応	△	沖縄水産高校、西崎工業団地対応	△	糸満高校対応
その他			狭小なルートを通る必要があり、路線バスでは現実的に困難					

④ ダイヤの検討

ルート案の中から仮にAルートを選定し、4つのダイヤ案を比較した。  
結果は、A-2案が、バランスよく各指標に対応していることが分かった。

現南部循環線

新南部循環線（真壁・喜屋武）

新南部循環線（喜屋武・真壁）

	現行		A-1（現行寄り）		A-2（部活考慮）		A-3（カバー率重視）		A-4（1台運行）	
	真壁・喜屋武	喜屋武・真壁								
運行時間	5時									
	6時	6:10～7:10	5:40～7:15						5:35～7:10	
	7時				7:20～8:55	7:50～9:25	7:20～8:55	7:50～9:25	7:20～8:55	7:15～8:50
	8時									
	9時		9:00～9:54		9:00～10:35	9:30～11:05	9:00～10:35	9:30～11:05	9:00～10:35	8:55～10:30
	10時									
	11時								11:05～12:40	10:35～12:10
	12時									
	13時								12:15～13:50	
	14時									
	15時	14:50～15:44		14:20～15:55				14:15～15:50		14:25～16:00
	16時		16:00～16:54		16:00～17:35	15:55～17:30	15:30～17:05	15:55～17:30	15:30～17:05	16:05～17:40
	17時	17:25～18:25		17:05～18:40			17:10～18:45	17:35～19:10	17:10～18:45	
	18時		18:30～19:30	18:45～20:20	18:45～20:20	17:35～19:10	18:50～20:25	17:35～19:10		17:45～19:20
19時	19:00～19:48				19:15～20:50					
20時		20:00～20:48						19:25～21:00		
21時	21:00～21:48		20:30～22:05	20:25～22:00					21:05～22:40	
22時										
指標1 南部循環線利用者の多くをカバーできること	◎	南部循環線利用者 カバー率 100%	◎	南部循環線利用者 カバー率 95.8%	◎	南部循環線利用者 カバー率 91.7%	○	南部循環線利用者 カバー率 89.6%	×	南部循環線利用者 カバー率 64.6%
指標2 デマンド利用者の多くをカバーできること	×	デマンドカバー率 2.1%	△	デマンドカバー率 9.0%	○	デマンドカバー率 14.0%	◎	デマンドカバー率 21.1%	○	デマンドカバー率 20.3%
指標3 通勤・通学の利用者が見込まれること	△	三和高嶺→糸満西崎 ○ 西崎→糸満 ×	△	三和高嶺→糸満西崎 ○ 西崎→糸満 ×	◎	三和高嶺→糸満西崎 ◎ 西崎→糸満 ◎	○	三和高嶺→糸満西崎 ○ 西崎→糸満 ○	○	三和高嶺→糸満西崎 ◎ 西崎→糸満 ×

(6) 南部循環線再編案(たたき台)

検討結果からA-2案をたたき台として選定した。ただし、今回の会議では、「南部循環線を西崎地区へ延伸する」という方向性のみを決定する予定である。詳細については、今回の議論及び各関係機関との調整を踏まえ次回以降に順次決定していきたい。



■ 南部循環線 ■ 南部循環線 (再編案)

		現行		A-2 (部活考慮)	
		真壁・喜屋武	喜屋武・真壁	真壁・喜屋武	喜屋武・真壁
運行時間	6時	6:10~7:10			
	7時		7:20~8:20		7:20~8:55
	8時			7:50~9:25	
	9時		9:00~9:54		9:00~10:35
	10時			9:30~11:05	
	11時				
	12時				
	13時				
	14時				
	15時	14:50~15:44			
	16時		16:00~16:54	15:55~17:30	15:30~17:05
	17時	17:25~18:25			17:10~18:45
	18時		18:30~19:30	17:35~19:10	
	19時	19:00~19:48		19:15~20:50	18:50~20:25
	20時		20:00~20:48		
21時	21:00~21:48				

名称	真壁・喜屋武					名称	喜屋武・真壁				
	1便	2便	3便	4便	5便		1便	2便	3便	4便	5便
1 糸満バスターミナル	7:50	9:30	15:55	17:35	19:15	1 糸満バスターミナル	7:20	9:00	15:30	17:10	18:50
2 糸満ロータリー	7:51	9:31	15:56	17:36	19:16	2 糸満市役所	7:23	9:03	15:33	17:13	18:53
3 サンプラザいとまん	7:55	9:35	16:00	17:40	19:20	3 喜屋武	7:37	9:17	15:47	17:27	19:07
4 南部整形外科	7:57	9:37	16:02	17:42	19:22	4 米須	7:51	9:31	16:01	17:41	19:21
5 西崎工業団地	8:12	9:52	16:17	17:57	19:37	5 真壁	7:56	9:36	16:06	17:46	19:26
6 水産高校前	8:15	9:55	16:20	18:00	19:40	6 大里	8:10	9:50	16:20	18:00	19:40
7 糸満ロータリー	8:18	9:58	16:23	18:03	19:43	7 糸満高校	8:17	9:57	16:27	18:07	19:47
8 糸満市役所	8:21	10:01	16:26	18:06	19:46	8 糸満市役所	8:23	10:03	16:33	18:13	19:53
9 糸満高校	8:27	10:07	16:32	18:12	19:52	9 糸満ロータリー	8:26	10:06	16:36	18:16	19:56
10 大里	8:34	10:14	16:39	18:19	19:59	10 水産高校前	8:29	10:09	16:39	18:19	19:59
11 真壁	8:48	10:28	16:53	18:33	20:13	11 西崎工業団地	8:32	10:12	16:42	18:22	20:02
12 米須	8:53	10:33	16:58	18:38	20:18	12 南部整形外科	8:47	10:27	16:52	18:32	20:12
13 喜屋武	9:07	10:47	17:12	18:52	20:32	13 サンプラザいとまん	8:49	10:29	16:59	18:39	20:19
14 糸満市役所	9:21	11:01	17:26	19:06	20:46	14 糸満ロータリー	8:53	10:33	17:03	18:43	20:23
15 糸満バスターミナル	9:25	11:05	17:30	19:10	20:50	15 糸満バスターミナル	8:55	10:35	17:05	18:45	20:25

通勤通学対応ダイヤ	始業	終業	部活終了	
			夏季	冬季
糸満高校	8:45	16:05	19:30	19:00
沖縄水産高校	8:45	16:05	19:30	19:00
西崎工業団地 (利用の多い企業)	9:00	16:00		

## 【方向性2】いとちゃん mini デマンドを朝夕に延長し本格運行することについて

現在いとちゃん mini デマンドは試験運行という状態であるが、市民の移動手段として定着し、今後もなくはない存在となっており、本格運行に移行する必要がある。

今回の会議では、「いとちゃん mini デマンドを朝夕に延長し本格運行する」という方向性を決定したい。資料に示す具体的な案は、あくまで議論の土台となる「たたき台」であり今回決定するものではない。詳細については、今回の議論及び各関係機関との調整を踏まえ次回以降に順次決定していきたい。

### (1) 現在の運行状況

#### ① 目的

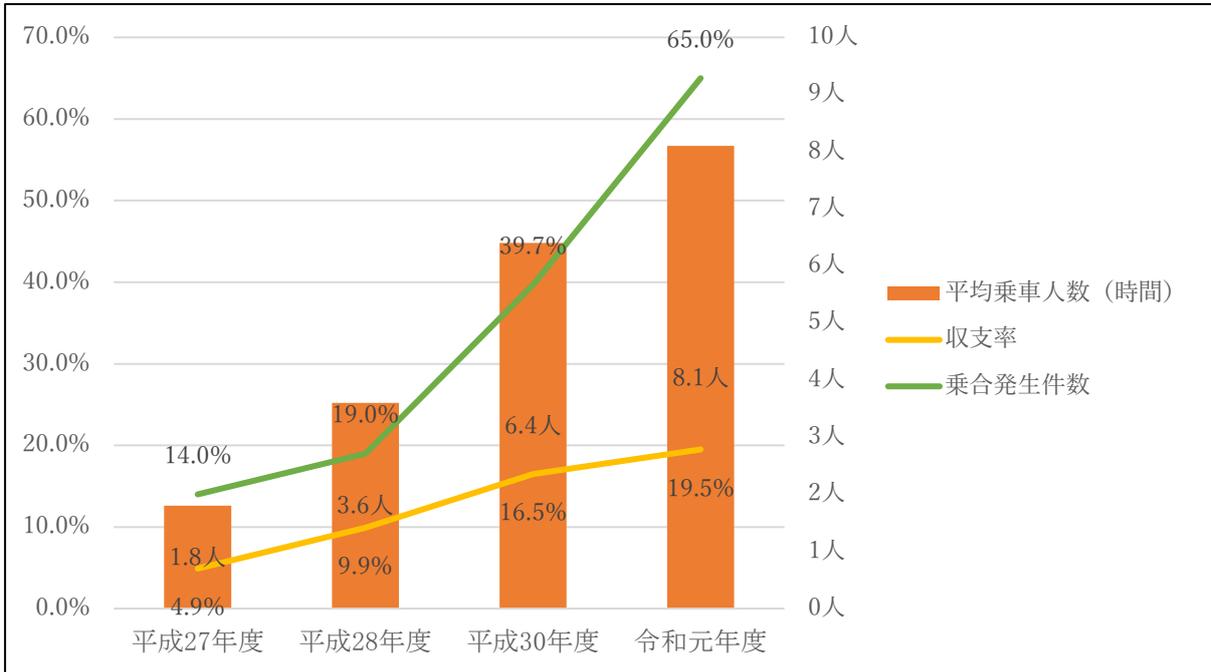
今回の試験運行は、「糸満市地域観光交通実証実験」では解決できなかった、本格運行に向けた各種課題を再整理することを目的に行う。また、本格運行を行う際、国土交通省「地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)」の活用を視野に入れた、「実証運行」と位置付けている。

#### ② 運行概要

運行期間	平成 30 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月末(約 3 年間)
運行形態	デマンド区域運行(指定乗降所・出発時間が定められている)
運行区域	糸満市全域
運行時間	9:00~17:00(乗車希望時間の 30 分前予約制)
バス停数	計 165 箇所
運賃	3km まで 300 円、3~6km まで 400 円、6~9km まで 500 円、9km 以上 600 円 ※上記はバス停間の直線距離による大人運賃 ※小人(小~中学生)・免許返納者・障がい者は半額 割引策として、回数券を発行 3,000 円分回数券(300 円×12 枚)1,000 円分回数券(100 円×12 枚) 800 円分回数券(80 円×12 枚) 500 円分回数券(50 円×12 枚)
運行車両	大型ワゴン(乗車定員 10 名、常用 3 台・予備車 1 台による運行)

③ 利用状況

利用者・収支率ともに順調に推移している。しかし、令和元年度において利用は飽和状態にあり、これ以上の大幅な伸びは期待できない。



(2) 本格運行を実施する意義

① 財政的なメリットがある

(ア) 国庫補助を受けられる可能性がある

糸満市単独で運行経費を持続的に賄っていくことは難しく、国の補助事業を活用していく必要がある。糸満市の場合最大で約 1,200 万円/年の補助が見込める。

補助を受けるためには、「生活交通確保維持改善計画」を策定する必要があるため、今年度本交通会議にて策定していく。

ただし、「新たに運行を開始するもの」という補助要件があり、これをクリアするためには、試験運行を踏まえサービス改善に関する取り組みを実施する必要がある。

**1. 地域公共交通確保維持事業 (1) 陸上交通: 地域内フィーダー系統補助**

地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、幹線バス等の地域間交通ネットワークと密接な地域内のバス交通・デマンド交通の運行について支援。

**補助内容**

- 補助対象事業者  
一般乗合旅客自動車運送事業者、自家用有償旅客運送者  
又は地域公共交通活性化再生法に基づく協議会
- 補助対象経費  
補助対象系統に係る経常費用から経常収益を控除した額  

経常費用  
 補助対象経費  
 経常収益

$\begin{matrix} \uparrow \\ \text{欠損} \\ \downarrow \end{matrix}$

<補助対象経費算定方法>  
 経常費用 (事業者のキロ当たり経常費用 × 系統毎の実車走行キロの実績)  
 - 経常収益 (系統毎の運送収入、運送雑収及び営業外収益の実績)
- 補助率  
1/2
- 主な補助要件
  - 協議会等が定めた生活交通確保維持改善計画に確保又は維持が必要として掲載され、
    - 補助対象地域間幹線バス系統を補充するものであること又は過疎地域等の交通不便地域の移動確保を目的とするものであること
    - 補助対象地域間幹線バス系統等へのアクセス機能を有するものであること
  - 新たに運行を開始又は公的支援を受けるものであること
    - 乗車人員が2人/1回以上であること (定時定路線型の場合に限る。)
    - 経常赤字であること

(イ) 特別交付税の算定対象になる

本格運行をした場合、国庫補助等を差し引いた市の負担分の 80%が特別交付税の算定対象となり、さらに市の財政負担の軽減することができる。

② 市民の安心につながる

今後も継続的に運行するものとして、市民の安心につながる

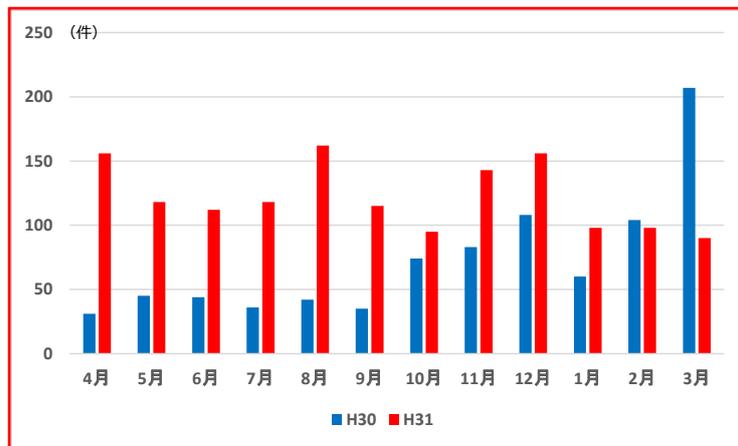
(3) 試験運行により生じた課題と課題への対応(たたき台)

① 課題1 輸送能力を超える需要への対応

(課題内容)

現在いとちゃん mini デマンドは、3 台体制だが、恒常的に輸送能力を超える予約希望がある。また、潜在的な需要として「予約しにくい」というイメージから予約の電話を控えている人も存在すると考えられる。

令和元年度の4月～3月までのお断り合計件数が1,487件となっており、前年度の同期間のお断り件数662件を大きく上回り2.2倍増であった。特に乗車数が多かった8月については162件と多かった。



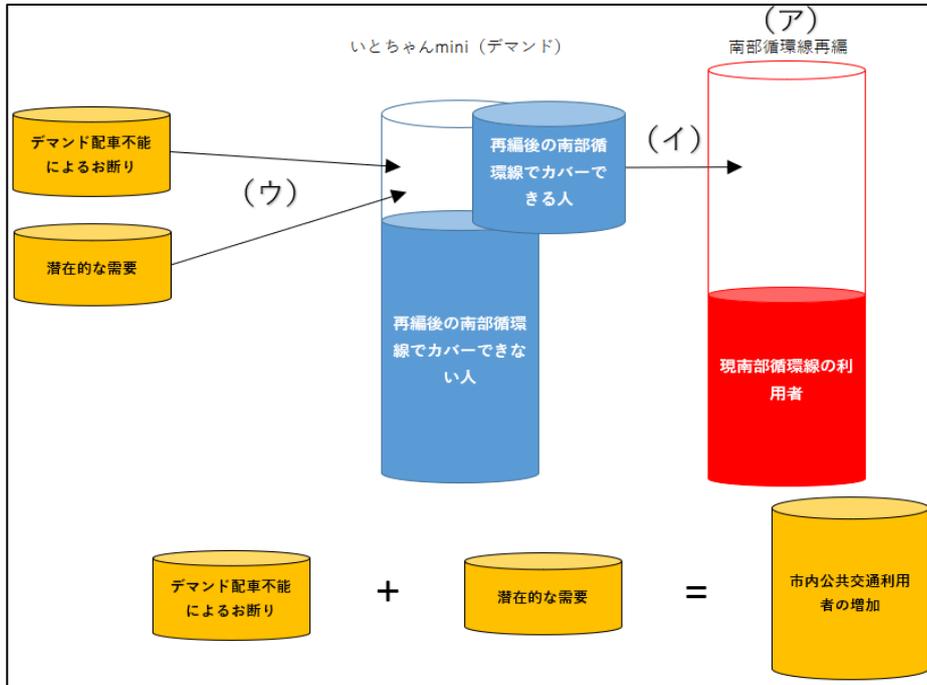
(対応方法1) いとちゃん mini デマンドの需要を南部循環線に分散する

今回の再編では南部循環線のルート・ダイヤ等を再編することで、いとちゃん mini デマンドとの役割分担を行い市内公共交通の組み合わせを最適化することを目指す。

(ア) 南部循環線のルート・ダイヤを市民の需要に合わせて再編

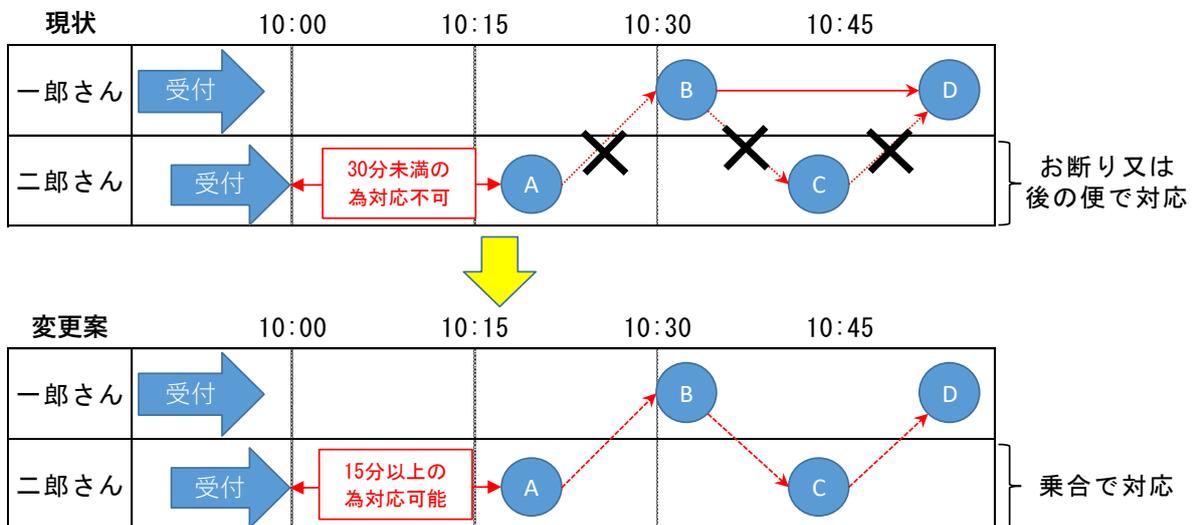
(イ) いとちゃん mini デマンドの利用者の一部を南部循環線に移行してもらう

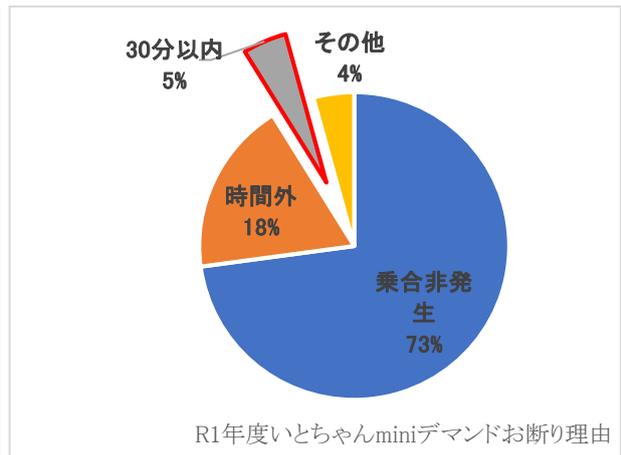
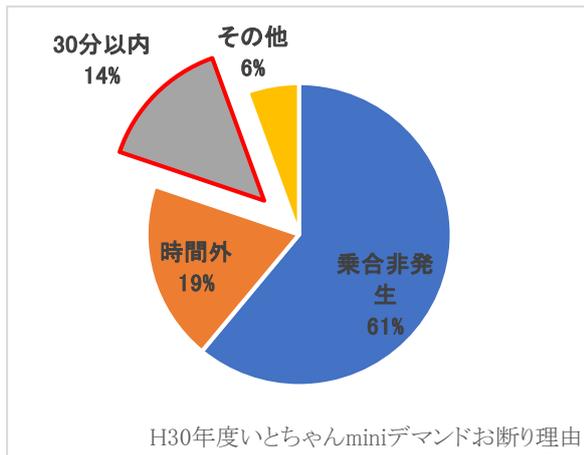
(ウ) いとちゃん mini デマンドに生まれた余裕に、これまでお断りしていた輸送能力を超える需要を取り込む



(対応方法2) 事前予約を30分前から15分前に変更

現在事前予約は30分前となっているが、移動の方向性は同じでも少しの時間の違いによりお断り、又は別便対応となっているケースが多々あり乗合率低迷の原因となっている。事前予約を15分前に短縮することにより乗合率が向上し利用者数の増加につながる。





(対応方法 3) 予約システムバス停間所要時間設定の修正

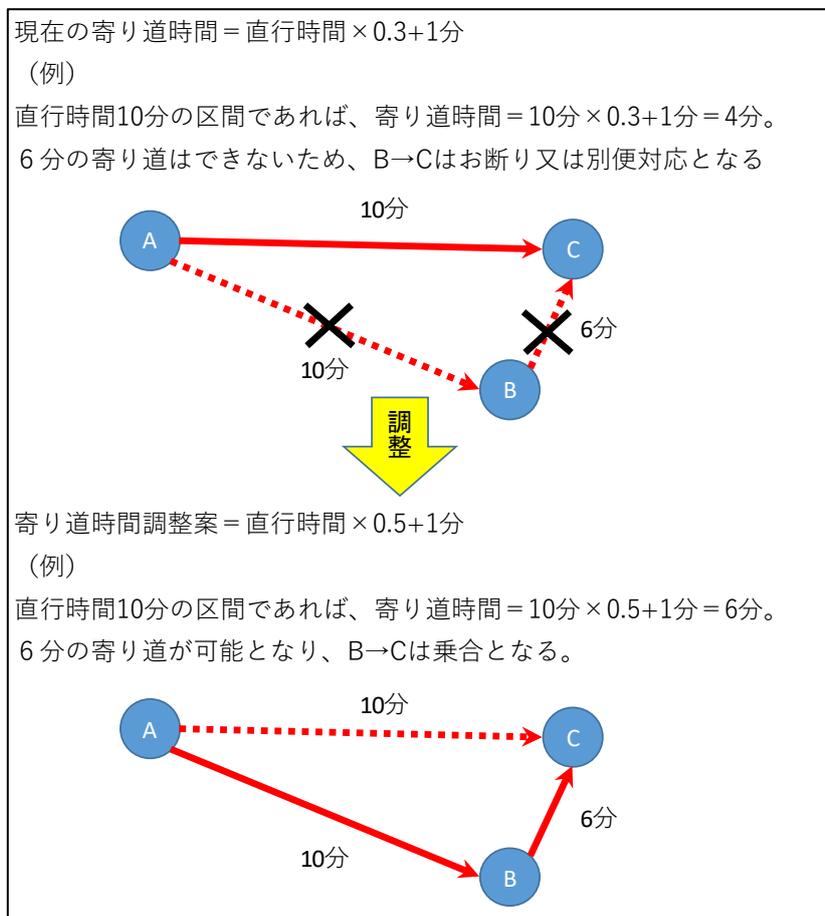
運行現場からは、「システム上の所要時間と、実際の所要時間にズレがある」との声がある。調査してずれを修正することにより運行を効率化することができる。

例えば

	システム上の設定	実際の所要時間
A バス停→B バス停	15 分	10 分

(対応方法 4) 予約システム「寄り道時間」設定の調整

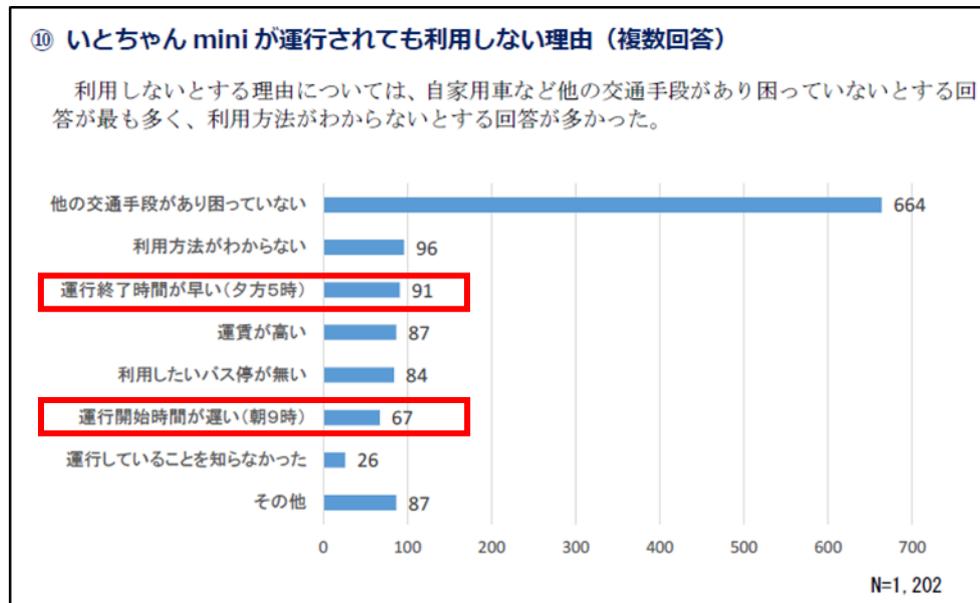
予約システムの「寄り道時間」の設定を調整することにより、乗合が増えより多くの利用者を受け入れることが可能になる。



② 課題2 朝・夕への移動需要への対応

(課題内容)

現在いとちゃん mini デマンドは、9 時～17 時の運行だが、各種アンケートや予約センターへの問い合わせ等から 9 時より前及び 17 時より後の運行への要望は多い。



(対応方法)いとちゃん mini デマンドを朝夕に延長する

市民ニーズに合わせて朝 2 時間・夕方 2 時間運行時間を延長することで、利用者の増加に繋げることができる。

但し、H27・28 年度に利用が少なかった朝夕の延長時間帯は、2 台体制、オペレーター無しなどにより経費の効率化にも配慮する必要がある。

		現行			対応方法案			
		1号車	2号車	3号車	1号車	2号車	3号車	
	7時					デマンド7:00~9:00 (オペレーター無し)		
	8時							
	9時	デマンド 9:00~17:00			デマンド 9:00~17:00			
	10時							
	11時							
	12時							
	13時							
	14時							
	15時							
	16時							
	17時					デマンド17:00~19:00 (オペレーター無し)		
	18時							

## 【方向性 3】いとちゃん mini 国吉線について、利用実態に合わせたダイヤへの変更を検討することについて

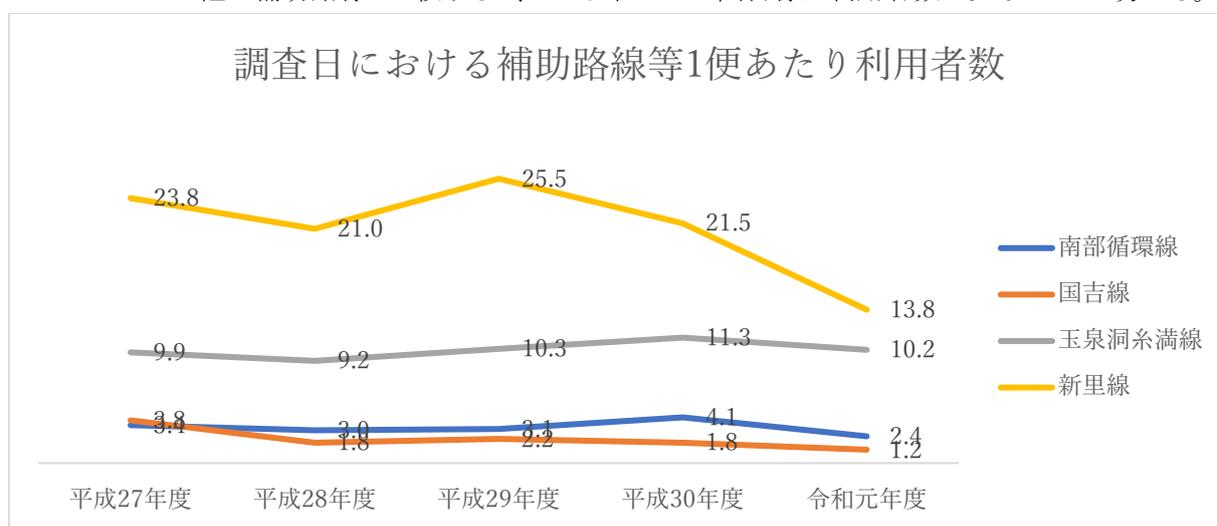
現在いとちゃん mini 国吉線は長期にわたって利用が低迷している状況である。生産性を上げる取り組みとして、その利用状況を分析し、ダイヤの変更等を検討する必要がある。

今回の会議では、「いとちゃん mini 国吉線について、利用実態に合わせたダイヤへの変更を検討する」という方向性を決定したい。資料に示す具体的な案は、あくまで議論の土台となる「たたき台」であり今回決定するものではない。詳細については、今回の議論及び各関係機関との調整を踏まえ次回以降に順次決定していきたい。

### (1) 利用状況

#### ① 他の路線との比較

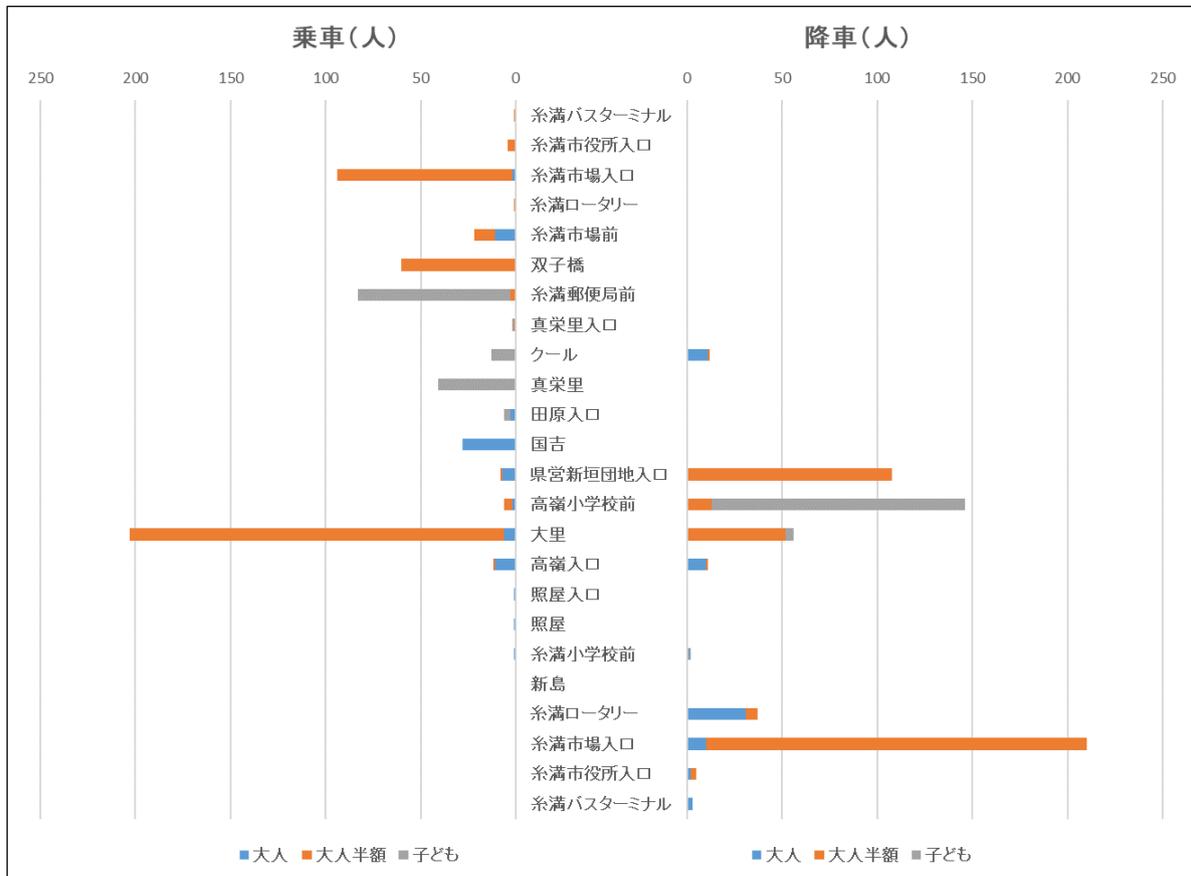
他の補助路線と比較すると、いとちゃん mini 国吉線は利用者数が少ないことが分かる。



(糸満市バス対策会議資料を基に作成) ※国吉線は、平成30年度までは、琉球バス、令和元年度はから糸満市運行。

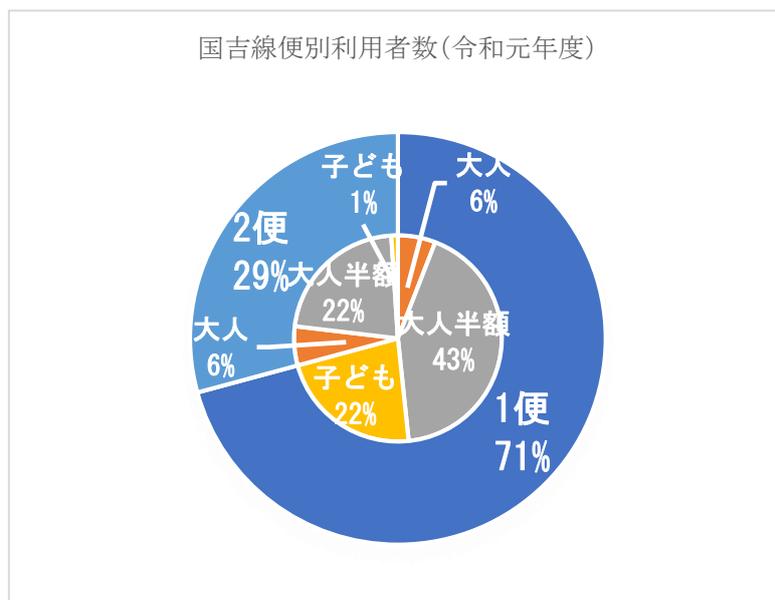
② バス停別の利用状況

主に糸満地区から高嶺地区への通勤通学、高嶺地区から糸満地区への通勤に利用されている。「大人半額」は主に、障がい者就労支援施設への通勤とみられる。



③ 便別利用者数

1便目に利用者が集中している。利用目的がはっきりしているため、運行時間を工夫することにより利便性を上げられる可能性がある。



(2) 問題点

① 小中学校への登校時間とズレがある

いとちゃん mini 国吉線は、高嶺小中学校への通学を支える路線だが、現在のダイヤは、1 便目だと早すぎ、2 便目だとギリギリになってしまい登校に使いやすい時間とは言えない。学校の推奨する登校時間

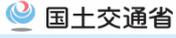
高嶺小学校	高嶺中学校
7:30~8:05	~8:10

いとちゃん mini 国吉線 高嶺小学校前ダイヤ

1 便	2 便
7:12	7:52

② 国庫補助を受けることができない

糸満市単独で運行経費を持続的に賄っていくことは難しく、国の補助事業を活用していく必要がある。しかし現在の利用状況では、乗車人員が2人/1回を下回り、国庫補助の要件を満たすことができない。(平成30年度1.3人、令和元年度1.2人)

**1.地域公共交通確保維持事業 (1)陸上交通:地域内フィーダー系統補助** 

地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、幹線バス等の地域間交通ネットワークと密接な地域内のバス交通・デマンド交通の運行について支援。

**補助内容**

- 補助対象事業者  
一般乗合旅客自動車運送事業者、自家用有償旅客運送者  
又は地域公共交通活性化再生法に基づく協議会
- 補助対象経費  
補助対象系統に係る経常費用から経常収益を控除した額

経常費用
------

↑

補助対象経費
--------

↓

経常収益
------

欠損

<補助対象経費算定方法>  
経常費用 (事業者のキロ当たり経常費用 × 路線毎の実車走行キロの実績) - 経常収益 (系統毎の運送収入、運送雑収及び営業外収益の実績)

- 補助率  
1/2
- 主な補助要件  
協議会等が定めた生活交通確保維持改善計画に確保又は維持が必要として掲載され、  
・補助対象地域間幹線バス系統を補完するものであること又は過疎地域等の交通不便地域の移動確保を目的とするものであること  
・補助対象地域間幹線バス系統等へのアクセス機能を有するものであること  
・新たに運行を開始又は公的支援を受けるものであること  
・乗車人員が2人/1回以上であること (1日1路線空の増台に限る。)  
・経常赤字であること

③ 市民が幅広く利用することができない

現在の運行内容では、バス停周辺の限られた市民しか恩恵を受けることができない。広く多くの市民が恩恵を受けられる仕組みを検討する必要がある。

(3) 再編案の検討

① 再編案(たたき台)

2便運行を1便運行とし、運行時間を1便目と2便目の中間とする。

	現状		再編案
7時	7:00~7:25	➔	7:15~7:40
	7:35~8:05		
8時			

② 再編の効果

(ア) 登校に使いやすい時間となる

学校の推奨する登校時間

高嶺小学校	高嶺中学校
7:30~8:05	~8:10

現状

バス停名称	1便	2便
糸満バスターミナル	7:00	7:35
高嶺小学校前	7:12	7:52
糸満バスターミナル	7:25	8:05

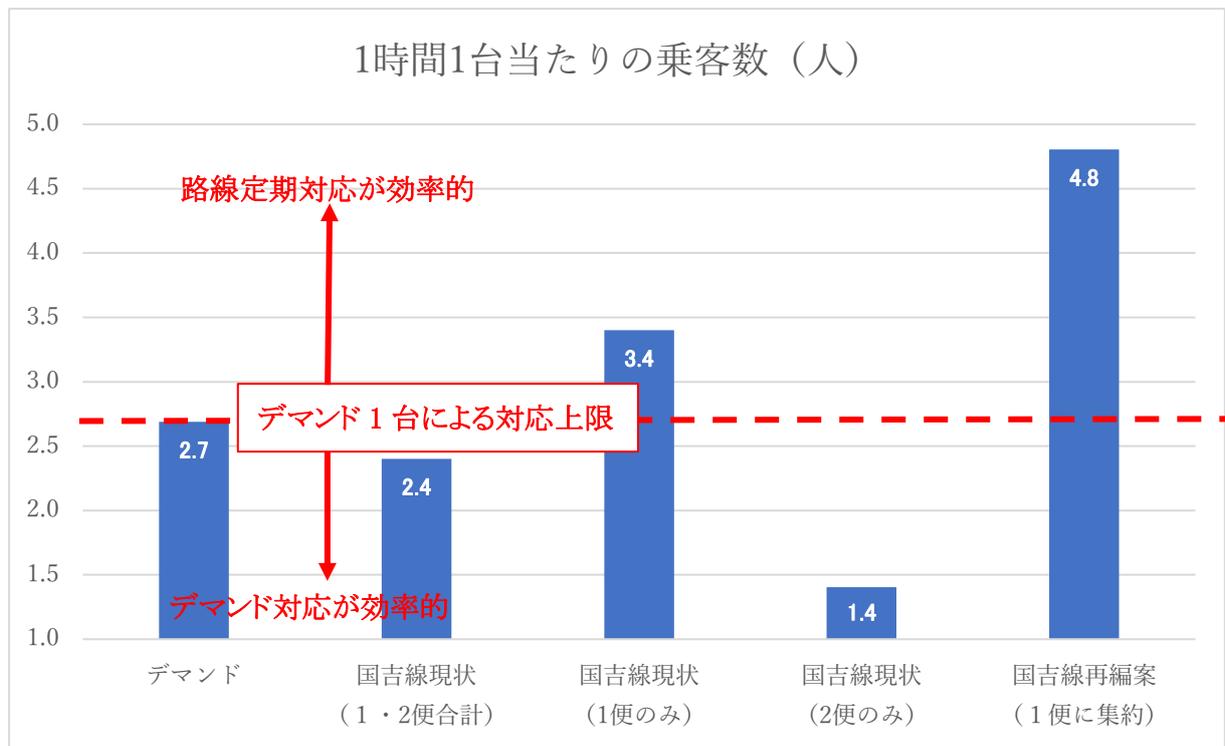


再編案

バス停名称	1便
糸満バスターミナル	7:15
高嶺小学校前	7:27
糸満バスターミナル	7:40

(イ) 運行の効率性が上がる

仮に現在の利用者をすべて1便に集約できた場合、効率性が大幅に向上する。



#### 4 市内公共交通再編の方向性案全体図(たたき台)

- 【方向性1】南部循環線を西崎地区へ延伸することについて
- 【方向性2】いとちゃん mini デマンドを朝夕延長し本格運行することについて
- 【方向性3】いとちゃん mini 国吉線について、利用実態に合わせたダイヤへの変更を検討することについて



運行時間	R1実績										再編		A-2 (部活考慮)					
	琉球バス		市			琉球バス		市										
	真壁・喜屋武	喜屋武・真壁	1号車	2号車	3号車	真壁・喜屋武	喜屋武・真壁	1号車	2号車	3号車								
5時																		
6時	6:10~7:10																	
7時		7:20~8:20	7:00~7:25															
8時			7:35~8:05															
9時		9:00~9:54																
10時																		
11時																		
12時																		
13時																		
14時																		
15時	14:50~15:44																	
16時		16:00~16:54																
17時	17:25~18:25																	
18時	19:00~19:48	18:30~19:30																
19時																		
20時		20:00~20:48																
21時	21:00~21:48																	

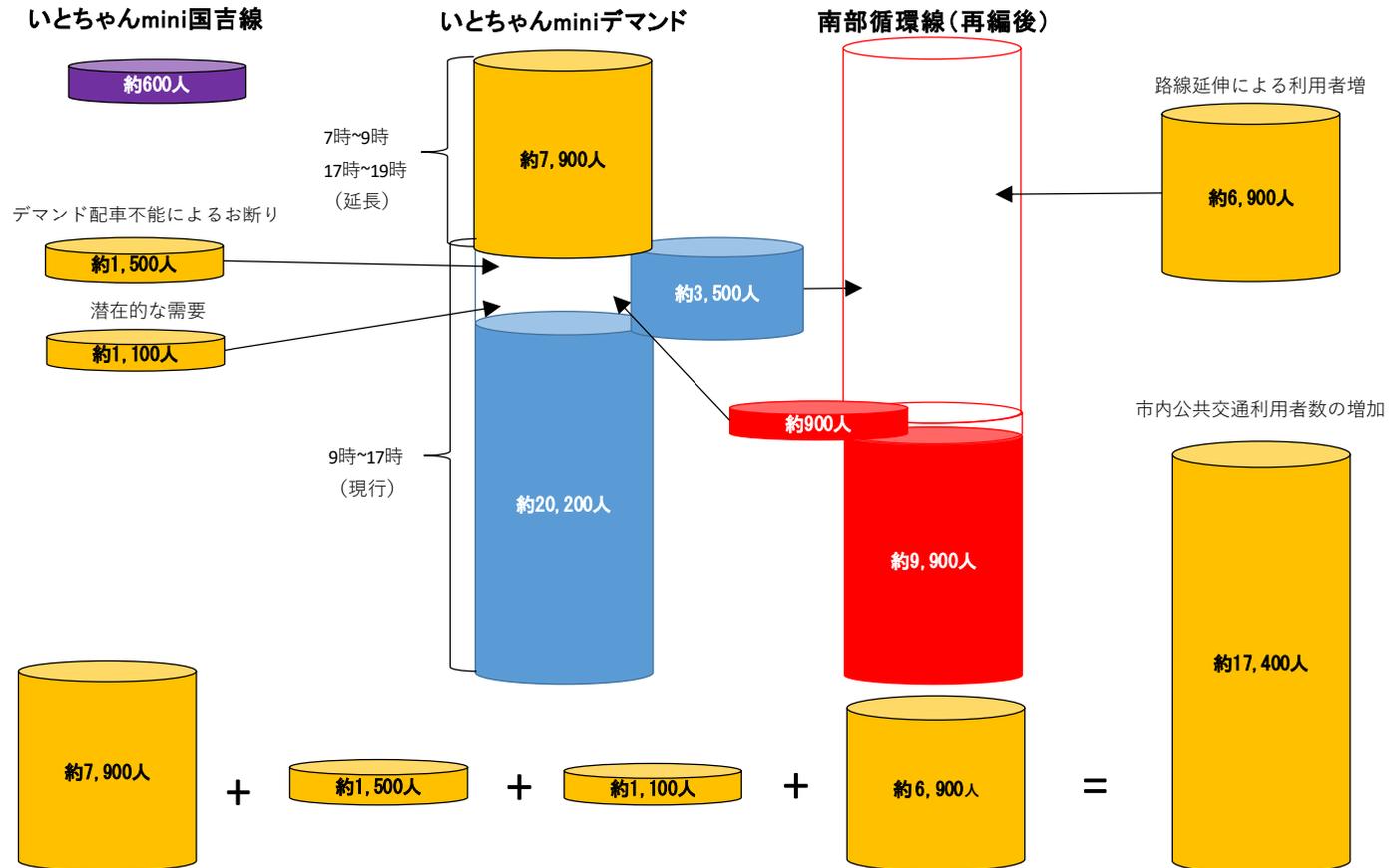
名称	真壁・喜屋武					名称	喜屋武・真壁				
	1便	2便	3便	4便	5便		1便	2便	3便	4便	5便
1 糸満バスターミナル	7:50	9:30	15:55	17:35	19:15	1 糸満バスターミナル	7:20	9:00	15:30	17:10	18:50
2 糸満ロータリー	7:51	9:31	15:56	17:36	19:16	2 糸満市役所	7:23	9:03	15:33	17:13	18:53
3 サンプラザいとまん	7:55	9:35	16:00	17:40	19:20	3 喜屋武	7:37	9:17	15:47	17:27	19:07
4 南部整形外科	7:57	9:37	16:02	17:42	19:22	4 米須	7:51	9:31	16:01	17:41	19:21
5 西崎工業団地	8:12	9:52	16:17	17:57	19:37	5 真壁	7:56	9:36	16:06	17:46	19:26
6 水産高校前	8:15	9:55	16:20	18:00	19:40	6 大里	8:10	9:50	16:20	18:00	19:40
7 糸満ロータリー	8:18	9:58	16:23	18:03	19:43	7 糸満高校	8:17	9:57	16:27	18:07	19:47
8 糸満市役所	8:21	10:01	16:26	18:06	19:46	8 糸満市役所	8:23	10:03	16:33	18:13	19:53
9 糸満高校	8:27	10:07	16:32	18:12	19:52	9 糸満ロータリー	8:26	10:06	16:36	18:16	19:56
10 大里	8:34	10:14	16:39	18:19	19:59	10 水産高校前	8:29	10:09	16:39	18:19	19:59
11 真壁	8:48	10:28	16:53	18:33	20:13	11 西崎工業団地	8:32	10:12	16:42	18:22	20:02
12 米須	8:53	10:33	16:58	18:38	20:18	12 南部整形外科	8:47	10:27	16:52	18:32	20:12
13 喜屋武	9:07	10:47	17:12	18:52	20:32	13 サンプラザいとまん	8:49	10:29	16:59	18:39	20:19
14 糸満市役所	9:21	11:01	17:26	19:06	20:46	14 糸満ロータリー	8:53	10:33	17:03	18:43	20:23
15 糸満バスターミナル	9:25	11:05	17:30	19:10	20:50	15 糸満バスターミナル	8:55	10:35	17:05	18:45	20:25

※今回の会議では、3つの方向性を決定したい。本案は、あくまで議論の土台となる「たたき台」であり今回決定するものではない。詳細については、今回の議論及び各関係機関との調整を踏まえ次回以降に順次決定していきたい。

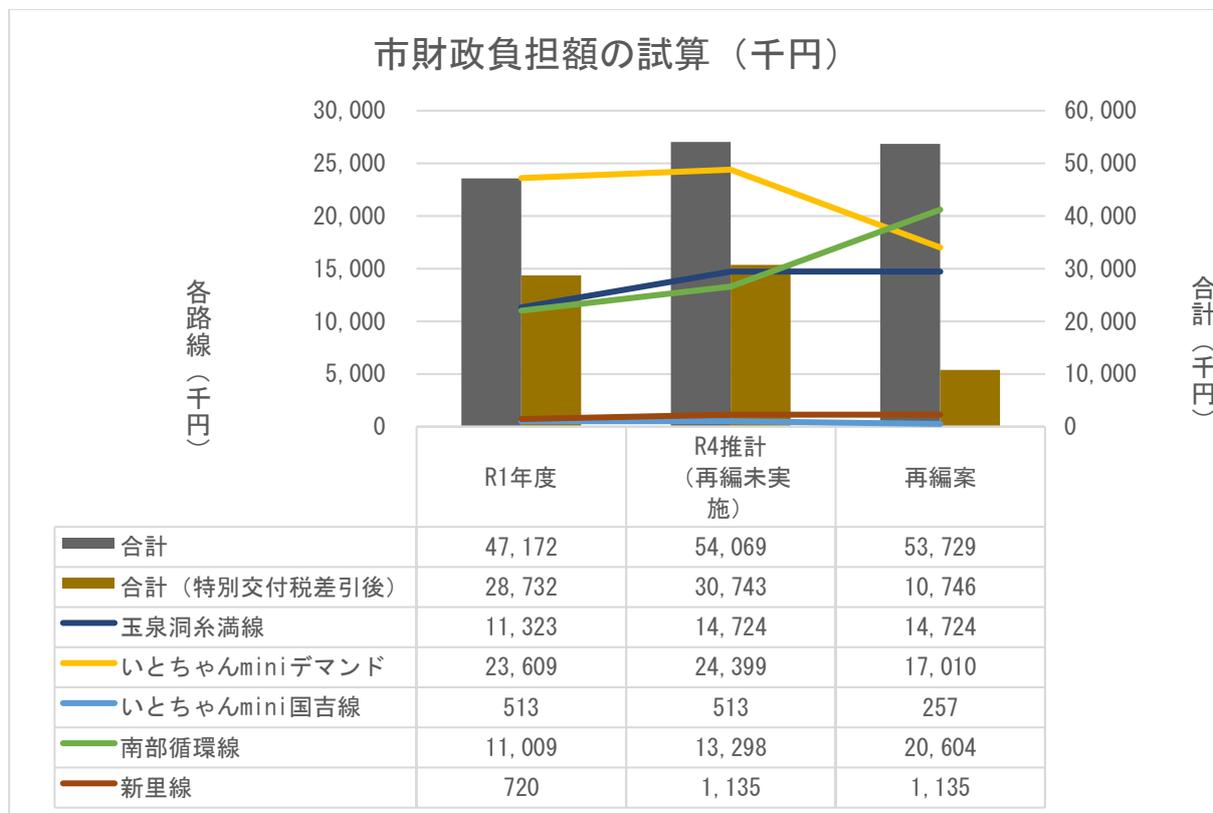
## 5 再編の効果

### (1) 市内公共交通組み合わせの最適化

南部循環線は利用者が増加、いとちゃん mini デマンドは飽和状態を緩和したうえで朝夕の需要に対応、市内公共交通の組み合わせを最適化することができる。



(2) 財政負担額の軽減



財政負担が軽減する理由

- ① いとちゃん mini デマンドの本格運行に合わせて国庫補助（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）を活用する想定であるため。但し、国庫補助の要件を満たす必要がある。沖縄総合事務局運輸部企画室と調整を進めている。
- ② いとちゃん mini デマンド・国吉線を本格運行することにより特別交付税の算定対象となる見込みであるため。  
但し、特別交付税は算定対象のうちどのくらいが交付されるかは不透明。
- ③ 南部循環線の延伸分も県補助（沖縄県生活バス路線確保対策補助金）を活用する想定であるため。沖縄県交通政策課と調整を進めている。

## 6 市内公共交通の再編に向けた今年度の地域公共交通会議スケジュール

第1回会議  
R2. 8月

- ・ 糸満市地域観光交通試験運行の報告
- ・ 市内公共交通再編の方向性案について

第1回会議  
R2. 10月～11月予定

- ・ いとちゃんmini試験運行延長の承認 (R3. 4～R3. 9)
- ・ いとちゃんminiデマンド本格運行の運行期間・運行時間・台数の承認
- ・ いとちゃんmini国吉線再編案の承認
- ・ 新南部循環線運行計画素案 (ルート・ダイヤ・運賃・バス停位置等) の検討

第3回会議  
R3. 2月予定

- ・ 生活交通確保維持改善計画 (いとちゃんmini本格運行運行計画) の承認
- ・ 新南部循環線運行計画の承認
- ・ 利用促進策の検討